

平成26年度 森林総合研究所公開講演会

北海道地域成果発表会の報告

日時：平成26年10月17日（金）13時30分～16時00分

会場：男女共同参画センター 3階 ホール（札幌市中央区北3条西8丁目 エルプラザ内）

題名：「動く森林—動態・更新と長期変動—」

発表1. 長期気候変動と森林

発表者）津山 幾太郎（北海道支所 森林育成研究グループ）

発表2. 年によって変動する樹木の種子生産

発表者）関 剛（北海道支所 森林育成研究グループ）

発表3. 台風攪乱—CO₂収支からみた攪乱の影響と回復過程—

発表者）溝口 康子（北海道支所 寒地環境保全研究グループ）

発表4. 洞爺丸台風風倒被害60年後の森林再生—長期モニタリングの意義と成果—

発表者）石橋 聡（北海道支所 北方林施業管理担当チーム長）

内容：

「動く森林—動態・更新と長期変動—」をテーマに森林の長期間または短期間の変動について研究成果の発表を行いました。田中地域研究監の司会のもと、牧野北海道支所長の開会あいさつで始まりました。

1 番目の発表では、分布予測モデルを用いた過去と将来の気候変動の森林分布への影響、将来の気候変動に対応できる森林管理の必要性について解説しました。2 番目の発表では、年によって変動する種子生産の豊凶の予測にもとづく森林管理や野生動物との共存の必要性について解説しました。3 番目の発表では、2004 年に台風被害を受けた羊ヶ丘実験林のCO₂収支の変化、皆伐・造林地との比較について解説しました。4 番目の発表では、1954 年の洞爺丸台風による風倒被害後の森林の回復状況、長期モニタリングの意義について解説しました。

最後に今井北海道育種場長のあいさつをもって閉会しました。当日は、道、道関係機関、森林管理局、北海道大学、一般企業、一般市民などの多くの皆様にご来場いただきました。（受付数 101 名）



開会挨拶



会場内の様子



ポスター展示



発表 1（津山）



発表 2（関）



発表 3（溝口）



発表 4（石橋）